

【米子市】 一人一台端末の利活用に係る計画

1. はじめに

地方公共団体における教育の情報化は、Society 5.0 時代を生きる子どもたちの育成に不可欠であり、教育格差の是正や地域特性を活かした学びの実現に寄与する。本市では、GIGA スクール構想に基づき、義務教育段階の児童生徒に一人一台端末を配備し、高速通信ネットワークの整備を完了した。今後は ICT 環境を活用し、学びの質の向上、教職員の働き方改革、地域社会との連携強化に取り組むことが喫緊の課題となる。

2. 一人一台端末を始めとする ICT 環境によって目指す学びの姿

個別最適な学び

ICT 環境を活用し、児童生徒の興味・関心や学習進度に応じた学びを提供する。AI 型教材やデジタルドリルを活用することで、つまずきの早期発見や得意分野の伸長が可能となる。学習履歴データを分析し、教師は個々のニーズに沿った指導を実施する。

主体的・対話的で深い学び

タブレット端末を活用し、情報収集・分析・表現力を育成する。学習支援ツールを活用することで、意見交換や共同作業を促し、批判的思考力や論理的思考力を養う。

誰一人取り残さない学び

ICT 環境を活用し、特別な支援を必要とする児童生徒への支援を強化する。不登校児童生徒にはオンライン学習機会を提供し、外国人児童生徒には多言語対応教材を活用することで、学習の機会を確保する。

3. GIGA 第 1 期の総括

整備状況の評価

令和 3 年度に市内全公立小中学校で一人一台端末を配備し、高速無線 LAN 環境を整備した。ただし、一部の学校では通信速度の課題が残っている。

利活用状況の評価

授業での ICT 活用が進み、調べ学習やプレゼンテーション、デジタル教材の利用が増加した。AI 型教材やデジタルドリルの導入により、個別最適な学びが促進されている。

課題と対応

- **ネットワーク環境**：ネットワークアセスメントを実施し、アクセスポイント増設などの改善を推進。
- **教員の ICT 活用指導力の向上**：実践的研修や情報モラル研修を拡充。

表 1：GIGA 第 1 期の総括

項目	現状	課題	対応策
一人一台端末配備状況	全児童生徒に配備完了	故障・破損、バッテリー劣化	修理・交換体制の整備、予備機の確保
校内ネットワーク環境	高速無線 LAN を整備	一部学校で速度・安定性に課題	ネットワークアクセスメントの実施、改善策の検討・実施
授業での ICT 活用頻度	増加傾向	教員間の活用頻度に差	ICT 研修の充実、先進事例の共有
個別最適な学びでの ICT 活用	AI 型教材 ^m デジタルドリル等の導入	効果的な活用方法の更なる検討	教員への研修、情報共有
協働的な学びでの ICT 活用	一部で学習支援ツールを活用	活用の促進と定着	教員への研修、事例紹介
教員の ICT 活用指導力	研修等による取組の推進	スキルアップの継続的な支援	研修機会の拡充、ICT 支援員の活用
情報セキュリティ対策	対策ソフトの導入 自治体情報セキュリティポリシーの準用	セキュリティ意識の更なる向上	情報セキュリティポリシーの策定、研修の実施、最新脅威への対応強化

4. 一人一台端末の利活用方策

GIGA 第 1 期の総括を踏まえ、一人一台端末の活用を推進し、子どもたちの学びの質の向上を目指す。

教科・領域における ICT 活用例

- **国語**：デジタル教科書の拡大表示や音声読み上げ、音声入力や自動添削機能の活用。
- **算数・数学**：デジタル教材やシミュレーションを活用した視覚的理解、プログラミング教材の活用。
- **理科**：実験動画やバーチャルラボの活用、AR/VR を用いた臨場感のある学習（例：天体観測、人体構造）。
- **社会**：地図アプリや GIS の活用、オンラインデータベースを用いた探究学習、プレゼンテーション資料作成。
- **外国語**：AI を活用したリスニング・スピーキング向上、オンライン交流。

- **総合的な学習の時間**：地域社会・専門家との連携、デジタルポートフォリオ作成。

学習活動における留意事項

- **健康管理**：目の疲れや姿勢を考慮し、休憩時間の確保と適切な利用方法を指導。
- **情報モラル・リテラシー教育**：情報発信・受信の責任、インターネットの危険性、適切なコミュニケーション指導。
- **著作権・個人情報保護**：権利尊重と個人情報の適切な取り扱いを指導。
- **家庭学習での活用**：利用目的・時間・フィルタリング設定の明確化と保護者との連携。

特別な支援を必要とする児童生徒への活用

- 読み書き・コミュニケーション支援アプリの活用。
- 個別の教育支援計画に基づく端末・ツールの選定。
- 音声入力・タッチ操作・視線入力による学習参加促進。

不登校児童生徒への活用

- オンライン学習教材を活用し、自宅学習の機会提供と進捗管理。
- オンライン教育相談・学習支援を実施。